

とおちっ子

十市小学校だより第23号

令和6年10月23日

文責 藤川 尚司

季節の変わり目を迎え、南の暖かい空気と北の涼しい空気がせめぎ合っているようで、10月らしくない不安定なお天気ですね。各種の行事のたびに、お天気の心配をしています。

10月19日(土)の南国市小学校陸上記録会もお天気が心配でしたが、選手や関係の皆さんの祈りが通じたのでしょうか。何とか開催することができました。十市小学校の選手みんなは、練習の成果を発揮して自己記録を更新し、好成績をおさめました。選手の頑張りに拍手を贈りたいと思います。そして、何よりも誇らしいのは、周囲の学校からあいさつや応援の姿に高い評価をいただいたことでした。十市小学校のよき伝統を受け継いで、力を発揮した十市小学校チームの皆さんのことを、大いにたたえたいと思います。

おもちゃランドを開こう

10月17日(木)多目的室で、おもちゃランドが開かれ、1年生と2年生が手作りおもちゃを使って、楽しく交流をしました。

2年生はしばらく前から生活科の学習の一環で、「おもちゃランドを開こう」という学習を進めていました。そしていよいよ1年生を招待して、学習は総仕上げを迎えました。

2年生の教室をのぞいた時、おもちゃ作りにいそしむ姿がしばらく前から見られました。「何を作ってるのかな?」と聞くと、目をキラキラさせながら「おもちゃランドのおもちゃを作ってる」と話してくれて、「これは、まとあてのまと!!」「指を離すとジャンプする紙!」などなど、様々なおもちゃグッズを紹介してくれました。おもちゃ遊びを楽しむ1年生の顔を思い浮かべながら、せっせと作業をしていました。

さて、招待された1年生は思い思いにおもちゃのブースをめぐり、楽しい時間を過ごしていました。あちこちから歓声が上がリ、笑顔が広がっていました。

楽しい交流の時間を企画してくれた2年生の皆さん。お疲れさまでした。ありがとう。



防災アドバイザー来校

10月18日(金)に、文部科学省学校安全支援事業の防災アドバイザーを本校にお招きし、5・6年生を対象に防災学習を行いました。今回のこの事業でご来校いただいた防災アドバイザーは、東日本大震災を経験し、被災地で避難所の運営を担われた方で、全国各地の学校で講演等の活動をされているそうです。

講師の講演では、東日本大震災の当日の話や避難所がどのような様子で、どのような運営をしていたという話など、当事者として災害に関わった方しか話ることができないお話を伺うことができました。甚大な被害をもたらした災害の、その時、その場で何が起きたのかを知る講師の講演は極めて貴重な内容でした。

特に印象深かったのは、いざという時の避難行動や被災後の避難所の運営について、あらかじめ様々な状況を想定し、いつ災害に出会っても適切な行動をとることができるように心構えを身につけておくことが重要だという内容でした。きっと、5・6年生は講師の先生のお話を受け、心構えを新たにしたことだろうと思います。

学校では、子どもたちが主体的に判断して自分の命を守る行動をとれるようになることを願って、様々な場面を想定して避難訓練等を行っています。10月15日(火)にも訓練を行いました。

休み時間の訓練で、子どもたちはいろんな場所にいたのですが、それぞれが次の行動を考えて速やかに行動することができました。こうした訓練や今回のような防災学習を生かしながら、子どもたちが自分で考えて行動できるような心構え、身構えを身に付けられるよう努めていきたいと考えています。

